

活用調査表

様式6

技術名 防音ドア (鋼製建具防音ドア「サイレンティ」)	登録 No.
	18K2001

施工内容

施工年度	平成20年度
発注機関	土木部都市局営繕課
工事名	新発田高校校舎棟建築工事
施工地	新発田市豊町
施工数量	7か所

新技術の概要

放送室や機械室での音の侵入や漏れを防ぐ遮音性を、建具に持たせることで総合性能がさらに良好となる。
単に防音性能を向上させるだけでなく、操作性や安全性を犠牲にしない要素が求められる。

トライアル工事での評価結果

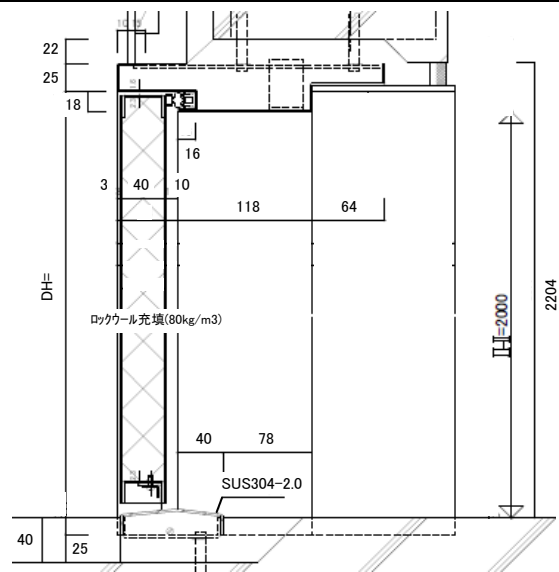
比較した従来技術	グレモンハンドル付防音ドア	
項目	評価	評価内容
経済性	◎	従来工法に比べ1面あたりの工事費が安く、マグタイトゴムの劣化やへたりも少ない。
工程	□	在来工法と同程度
品質出来形	◎	操作性がよく、防音性能は在来工法と同程度に確保している。
安全性	◎	使用時や保守点検時の指挟みこみが防止できる。
施工性	□	在来工法と同程度
環境	□	在来工法と同程度
その他		

◎:優れている ○:やや優れている
□:従来技術と比べて同程度
△:やや劣っている ×:劣っている

活用上の留意点	
---------	--

新技術問い合わせ先

会社名	熊谷工業株式会社
所属部課	管理課
担当者	板垣 裕
TEL	025-385-4455



上記はサイレンティの断面図です。マグタイトゴムを使用し、更に下枠をフラットにして性能を保持しています。枠と扉の間に10ミリのチリを設けて指はさみ防止としています。

左図は外観の写真です。錠前に通常のレバーハンドル錠を使用していますので、操作性は通常のドアと同様となりますが、防音性能は保持された製品となっています。

不特定多数の人が使っても性能維持出来る仕様となっています。



枠廻りにマグタイトゴムを使用し、従来の尖ったエッジやグレモン錠を不要としています。扉と枠の間にチリを設けているので、指はさみ防止効果があります。